

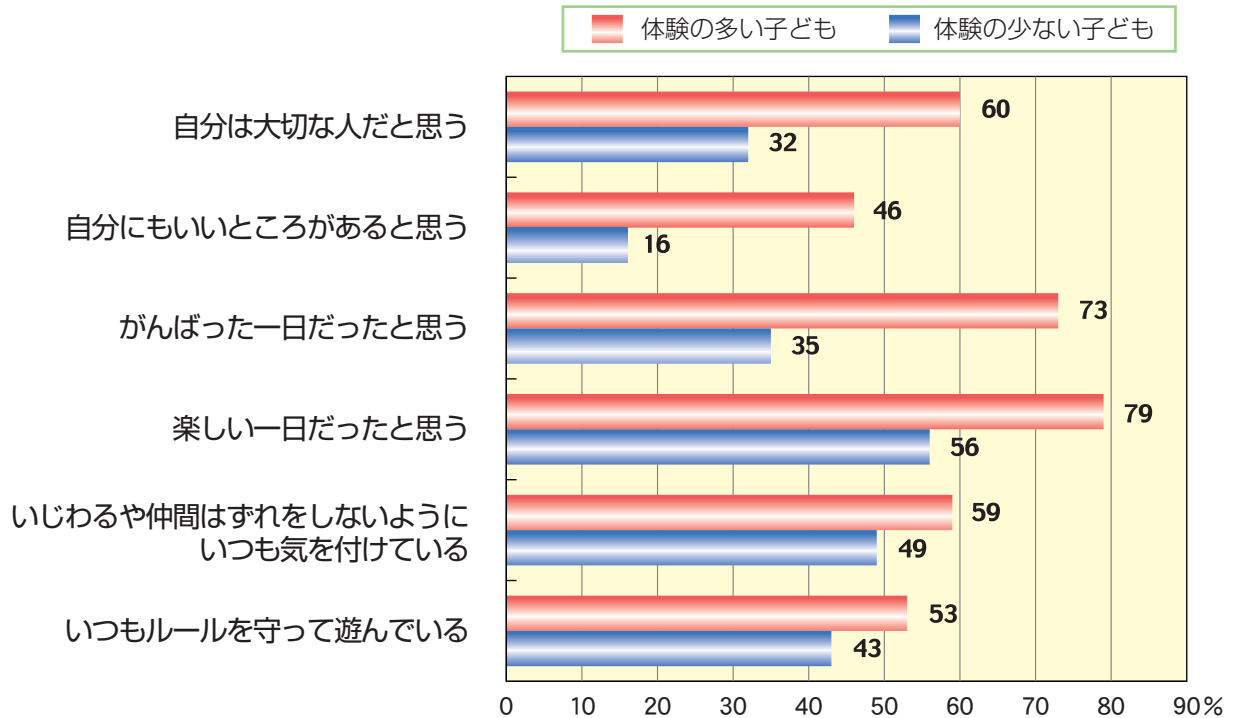
遊びの中で 子どもは 大きく成長します!



身近な体験活動として、
遊びを考えてみませんか。



■ 地域での体験活動や様々な遊びの経験が多い子どもの方が
自尊心や規範意識が高い傾向にあります。



※ 地域における奉仕活動体験、地域の人との交流体験、昔遊び体験、自然の中での遊び体験、ごっこ遊び体験等の12項目について、経験の多少をポイント化して比較

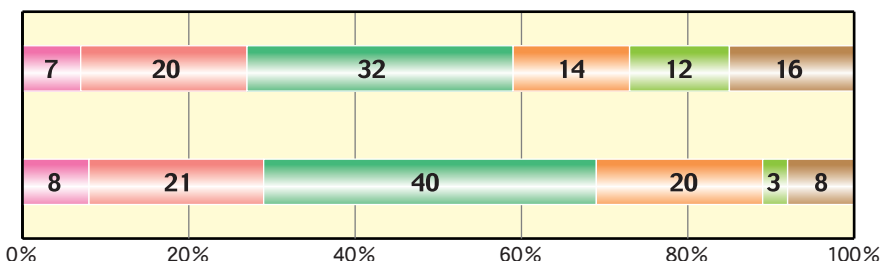
今 熊本の子どもたちは

■ 約3人にひとりが、2人以下の少人数で遊んでいます。



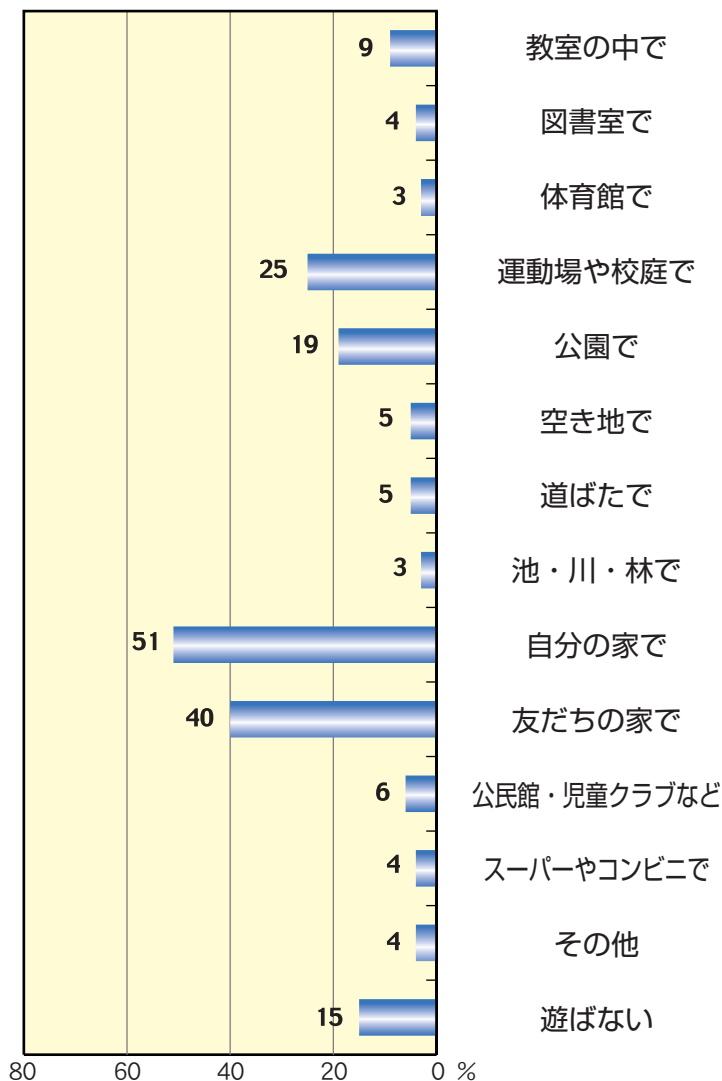
放課後
休日

■ ひとり ■ 2人 ■ 3~4人 ■ 5人以上 ■ 遊ばない ■ 不明

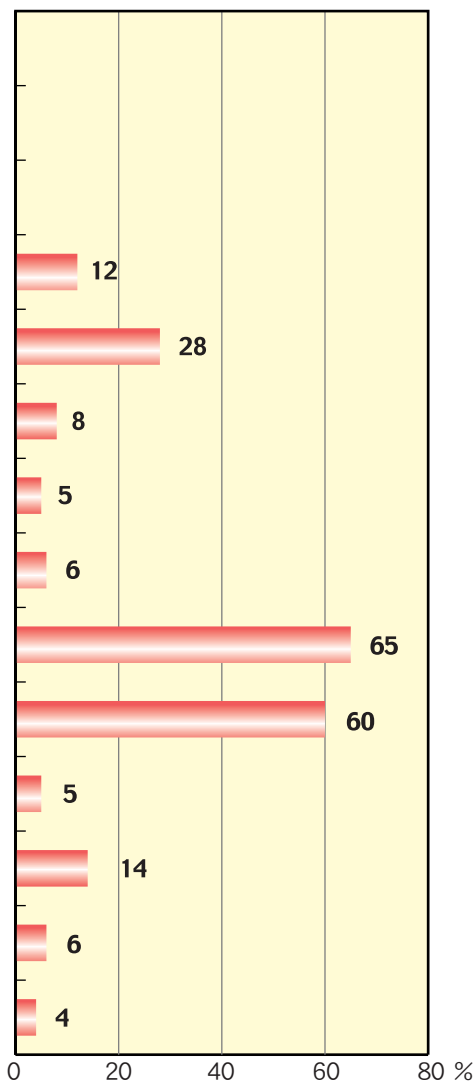


■ 自分の家や友だちの家など、室内で遊ぶ子どもが多くなっています。

放課後遊ぶ場所



休日に遊ぶ場所

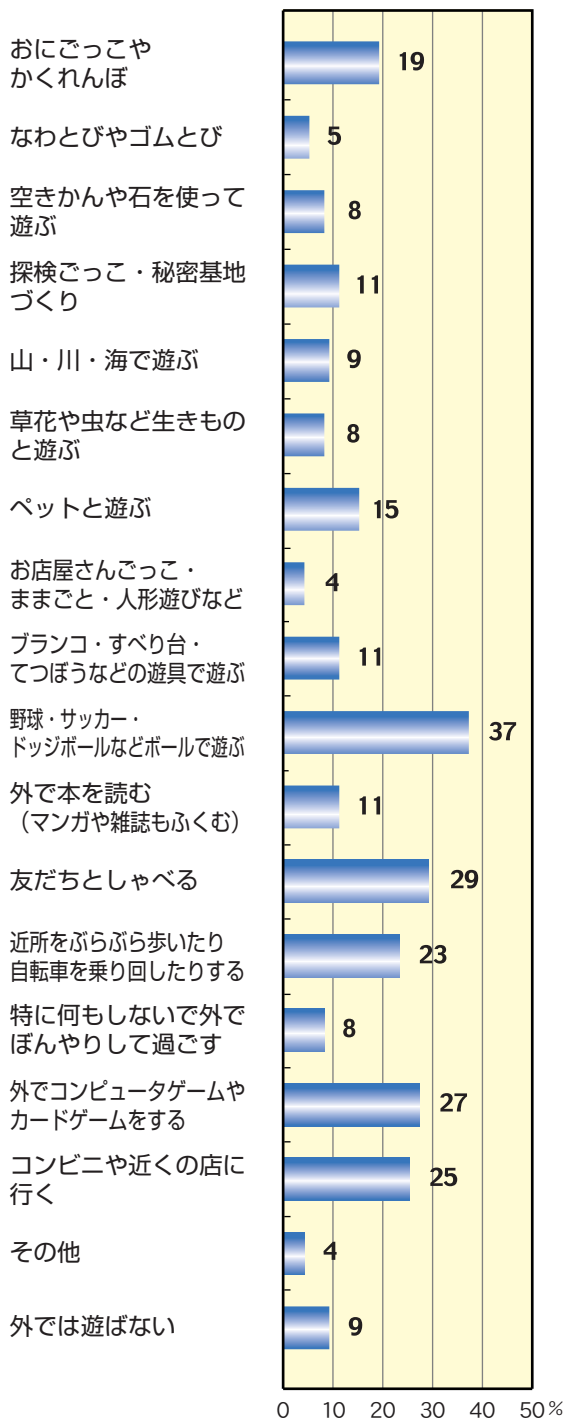


※ 放課後・休日ともに多い方から3か所選択

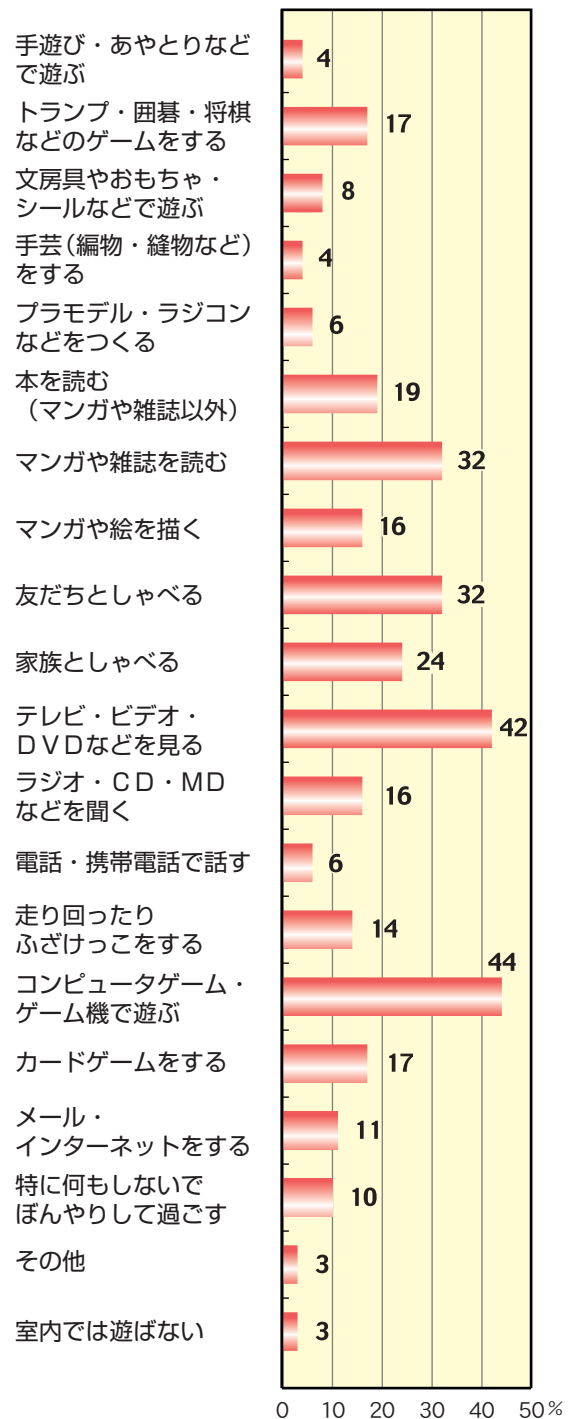


■ コンピュータゲームやテレビなど、人や自然と関わったり、身体を動かしたりすることの少ない遊びをしている子どもが多くなっています。

外での遊び



室内での遊び



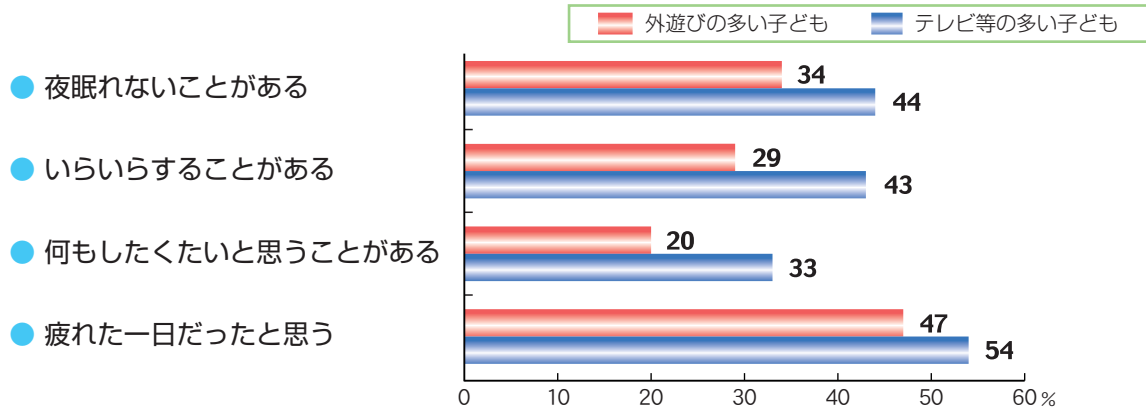
※ 休日によくする遊びを多い方から5項目選択

今の子どもたちの遊びの状況は、大人たちの子ども時代とは異なっています。子どもは、子ども同士でルールを作ったり、小さい子どもを思いやったり、自然の中で知恵を学んだり、時間を忘れて夢中で遊んだりする体験の中で、豊かな人間性や社会性といった人としてのあり方・生き方の基礎や、意欲を育てていきます。社会の変化による子どもの遊びの変化は、子どもの成長に必要な体験の機会の減少という状況を生んでいます。



人と関わったり、自然と関わったり、からだを動かしたりする遊びが子どもを育てます

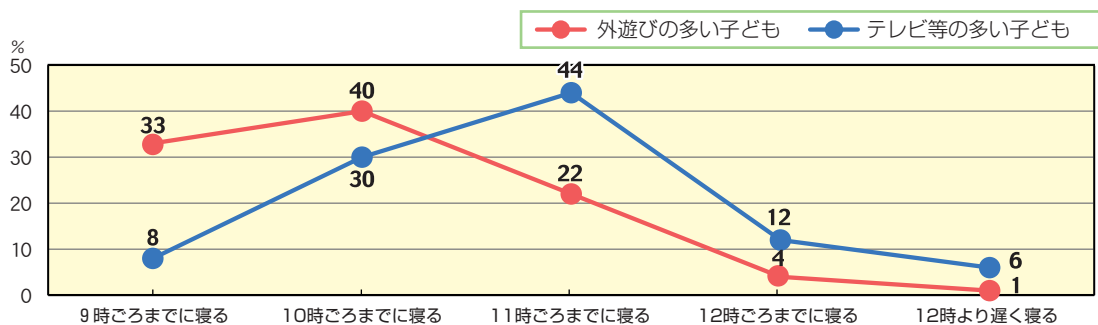
■ テレビやコンピュータゲームで遊ぶことの多い子どもの方が、「夜眠れないことがある」、「いらいらすることがある」等と答えた割合が高くなっています。



※ 外遊びの多い子ども：「外遊び」が1時間30分以上、かつ、「テレビ・ビデオ・DVD・コンピュータゲーム・インターネットの合計時間」が1時間30分以下
 テレビ等の多い子ども：「テレビ・ビデオ・DVD・コンピュータゲーム・インターネットの合計時間」が3時間以上、かつ「外遊び」30分以下

遊びは子どもの生活リズムにも大きく影響を与えます

■ テレビやコンピュータゲームで遊ぶことの多い子どもの方が、夜10時以降に眠る子どもの割合が高くなっています。



子どもたちが、夢中になって遊ぶ体験の中で、心も体も育つためには
家庭・地域・学校が連携、協力した取り組みが必要です!

体を動かす群れ遊び

創意工夫する遊び

自然の中での遊び

異年齢での遊び

遊びを通して子どもが健やかに育つために
みんなでやりまっしょい!

掲載したデータは、熊本県「子どもの遊び実態調査」平成19年10月調査結果です。
 詳しい調査結果は、熊本県教育委員会のホームページに掲載しています。

問い合わせ先

熊本県教育庁社会教育課

〒862-8609 熊本市水前寺6丁目18番1号 TEL 096-333-2698